



# 山田こうじです！

## 2027年地方選挙 西右京7人が決意 山添拓トークライブに420名



山田 右京区・市会

来年4月は統一地方選挙です。山添拓参議院議員・政ちろん、本土空襲、ヒロシマ、ナガサキの原爆投下、沖繩の地上戦など三百数十万人の命を奪いました。

西京区の河合ようこ（京都市会議員）成宮まりこ（京都府会議員）。右京区の清水明子（京都市政対策委員）えもとかよこ（京都市会議員）わたくし山田こうじ（京都市会議員）山口咲子（党府政対策委員）島田けい子（京都府会議員）の7人がそれぞれ、①「私と日本共産党、入党の動機」②「議員として何がしたいか」を語りました。

集会での私の3分間訴えを紹介します。

### 4期目の挑戦 暴力・分断許さない！

4期目の挑戦させていただきます、山田こうじです。

大学紛争や部落解放同盟の暴力支配、ベトナム反戦運動のさなか高校時代を過ごし、立命館大学二部理工学部に入学生クラブ活動、自治会活動に取り組みました。

ベトナム人民の勝利のニュースを立命館大学衣笠学舎で聞き歓喜をあげ、八

鹿高校事件（部落解放同盟の暴力支配に対し自由な学園をとの生徒たちの闘い）も大学に入り初めて知りました。

激動の1970年初頭に高校・大時代を過ごし、大学での自治会運動を通じ日本共産党に入党しました。

### 平和でこそ 高売繁盛

「平和でこそ商売繁盛」が私の原点です。

19歳の時に被ばく30周年の原水爆禁止世界大会に参加し被爆者の被爆体験をお聞きし、また被爆者、被爆2世の方などの手記を読み、核兵器の恐ろしさを

実感しました。81年前のアジア太平洋戦争で、アジアで2000万人、日本国民も戦地はも

この痛苦の経験から憲法前文には「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのないやうにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する」。文字通り、主権者国民が権力の手を縛り戦争させないと誓ったのが戦後日本の原点、出発点です。

### 国民から歓迎された 憲法9条

憲法制定の貴族院で幣原喜重郎首相は原子爆弾が発見されたもととして「文明と戦争は両立しないものであります。文明が速やかに戦争を全滅しなければ、戦争がまず文明を全滅することになるであらう」と述べ「一切の軍備は不要となります」と答弁しています。

平和主義を貫いた憲法9条は多くの国民に歓迎されました。押し付けられたのは憲法ではありません。



山添拓参議院議員と西右京7人衆そろい踏み

### 米軍基地と 再軍備押し付け

1950年、朝鮮戦争が勃発し、GHQは日本に再軍備を求めます。

1951年サンフランシスコ講和条約で「主権回復」と同時に署名された「日米安全保障条約」で、憲法の平和主義とは真逆の米軍基地と再軍備が押し付けられました。

安保条約に基づく米軍とともに戦争する国づくりの暴走を止めなければなりません。

「国民主権」「平和主義」「基本的人権の尊重」。憲法3原則に基づく政治実現に全力で頑張ります。



まじとおおきこ  
山田こうじです！  
NO.359  
被爆81年目の8月を前に、「核兵器のない平和な世界」を求めて、市内網の目平和行進が7月4日（土曜日）に、市内各行政区ごとに10コースで取り組まれました。  
西右京コースは京都府アミリー西口を午前10時半に出発。昨年60人の実績を大きく上回る80名の参加で行進できました。「核兵器なくそう」「武力で平和は守れない」「抑止力にならない」「トマホークいらぬ」「ノーモアヒロシマ・ナガサキ・ビキニ・フクシマ・ヒバクシャ」などのコール、「折り鶴」「青い空は青いままで」などの平和の歌声も響かせました。